



JA鹿児島みらい

- 2 | 新たな未来の創造
- 3 | みらいを繋ぐ
- 4 | トピックス
- 8 | 女性部通信
- 9 | 支店企画
- 10 | 食農教育
- 12 | 家庭菜園
- 12 | 不動産・相続 無料相談会
- 13 | 旬を食べよう
- 14 | 読者からのおたより 他
- 16 | アートの広場

みらい

2025

8

KAGOSHIMA MIRAI

広報誌
No.59

新しい夢 どんどん
育てよう明日を
JAグループ鹿児島

「組合員・地域に愛され、親しまれるJAへ」～新たな未来の創造～

アグリスクール 井手上組合長と子供達(P10)



新たな未来の創造

「JA鹿児島みらい」が創造する
地域に根ざした協同組合



代表理事組合長
井手上 貢

組合員・利用者との共生と

負託に応える組織へ

対話を継続することで職員に「体得」を学んでほしいと考えておりますので、組合員・利用者の皆さまのご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

います。

また、食料・農業・農村基本法についても四半世紀ぶりに「食料安全保障の抜本的強化」などを目的に改正されました。その基本理念の実現を図る観点から基本計画も閣議決定されておりますので、引き続き予算措置が確保できるようにJAグループ一体となって政府への要請活動を強化してまいります。

令和7年度は第3次中期3か年計画の初年度となりますが、JA県大会で決議しました「協同で育む食と農の未来」人的資本が支える地域・組織・事業」を進めるために自己改革の基本である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を着実なものとするべく役職員一丸となって事業展開を図ってまいります。今後とも当JAの事業全般にわたり、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

農業面においても生産者の減少や高齢化、耕地面積の減少など生産基盤の縮小が続くなかで、生産資材の高止まりなど農業経営は厳しさを増しています。さらに、昨今ではトカラ列島の群発地震や自然災害の多発化・激甚化など、生産現場に大きな影響が出ておりますが、引き続き行政・関係機関と一体となった農業生産基盤の確立に向け取り組んでま

すべし」という京セラの稲盛和夫氏の言葉を発信しました。

この度、第7回通常総代会後の臨時理事会におきまして、組合長に就任することとなりました。組合を代表いたしまして一言ごあいさつを申し上げます。

組合員・利用者の皆さまには日頃より当JAへのご理解と事業活動へのご協力に心より感謝を申し上げます。

就任にあたり最も取り組み強化を図りたいことは、訪問活動をはじめとする声を聴く活動です。組合員の皆さま方との対話活動に、より一層重点をおきJA鹿児島みらいのこれまで培われてきた伝統を継承しつつ、新たな創造に努めてまいります。今後も組合員・利用者の皆さまの生の声を聴かせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私は着任早々職員に自身の座右の銘でもあります、「知識よりも体得を重視

これまで組合員・利用者・地域住民の方々から訪問活動により様々なご意見を賜ってまいりましたが、営業店を基軸として更にこの組織を強固なものとしていくために、今まで以上に皆さまとの対話を重ねてまいります。また、この



JA 鹿児島みらい



みらいを繋ぐ

園芸

桜島支店管内 果樹農家
西村 直さん(68歳)

「幼い頃から農業の後継者として育てられましたよ」と話す西村さん。

現在、桜島で果樹農家として、県内外の消費者にお中元や贈答用の美味しい果実を届けています。

就農した頃は、今以上に桜島の火山活動が活発で夏になるとド力灰や灰雨が降るなど、露地栽培は生産も安定しない状況でした。

畑だった土地を造成してハウスを建てハウスみかん(かごしま早生)と加温せとかを中心不知火、大将季を2ヶ所の園地で作りながら、畑では大玉トマト等、野菜も栽培しています。

農業を始めるまでは農水省の果樹試験場で勉強し、県内外の営農指導員を経験して50歳の時に果樹農家としてスタートしました。

管内で唯一のハウスみかん農家の西村さん。2009年に12aの施設に苗木(130本)を定植したあと、2年目までは樹に負担がかかるため実は付けずに、3年目から実を付け4年目によつやく初収穫。初出荷され、目標だった3tを上回る4tを出荷しています。苗木から始まったハウス



みかん作りも今年で16年を迎え、緻密な計算とこれまで培ってきた経験を基に、2月に花が満開になるように12月25日に暖房の火入れを行い、大切に管理し手間と時間をかけて美味しい果実を作っています。

西村さんは「消費者の方に美味しい果実を届けるために愛情を込めて1玉1玉作っているので『美味しかった』の言葉を聞くと本当にいつも元気をもらっています。両親や先輩農家から受け継いできた桜島の果樹をこれからも守っていきたい」と話していました。

※せとかは、果皮が薄く濃厚で甘味が詰まった果実が特徴(清見とアンコールを掛け合わせた物にマリーコトを交配させた品種)

肉用牛振興会・ヘルパー組合総会

6月6日、JA鹿児島みらい肉用牛振興会・ヘルパー組合総会が都市農業センターで開かれ、会員と関係者72人(委任状含)が参加しました。



会に先立ち、2024年度の枝肉共助会の部と子牛セリ市の部の表彰があり、井手上組合長が7戸の生産農家の功績を讃え賞状と記念品を授与しました。

2025年度の活動計画として、子牛価格の相場上昇が一過性にならないよう発育良好で飼いやすい素牛づくりや肥育農家が求める子牛づくりに取り組み、肥育農家と連携して地域内一貫生産に取り組むことを決めました。

また、肉用牛振興会を中心にヘルパー組合活動を進めJA青年部畜産支部が協力し、高齢農家の運搬やせり引廻し、削蹄ヘルパーなど地域の肉用牛振興の活性化に努めることを再確認しました。

研修会では、肉用牛の情勢報告のあと鹿児島地域振興局農政普及課の宮下浩秋技術主査が「稼げる・繁殖牛経営を目指して―分娩間隔・出荷率」をテーマに、2023年から実施しているモデル農家での経過報告と、分娩間隔400日以内、生産率90%以上、出荷率80%以上、技術診断による課題の把握と改善について説明しました。

役員改選もあり樋口利盛氏が会長に選任されました。



資産管理部会総会

6月14日、第7回資産管理部会総会が開かれ、会員と関係者合わせて87人が参加しました。



同部会は、2019年に資産の保全と合理的な運用による経営安定、会員相互の融和と協調を目的に発足し、現在116人の会員が在籍しています。

また、当JAの不動産センターでは会員が所有する賃貸物件135棟・895戸と賃貸駐車場80ヶ所・803台を管理しています。

総会では、山足繁實会長と当JAの井手上組合長のあいさつのあと、2025年度の活動として賃貸物件のリフォームやリノベーション、資産の有効活用等のセミナー開催や視察研修、税務、確定申告相談会などの実施を決めました。

総会後の研修会では「誰も知らない相続のキソの基礎」をテーマに税理士法人森スクラム会計の森征一郎税理士が相続税申告について生前贈与や居住用不動産の配偶者への贈与に関する対策等も交え説明しました。

役員改選もあり柳田政雄氏を新会長に選任しました。



2025「鹿児島県やさい振興大会」開催

7月4日、「結」つなぐ野菜地力」をテーマに2025「鹿児島県やさい振興大会」が市内ホテルで開かれ、関係者650人が参加しました。



同振興大会は、3年に1度開催され、生産者・関係機関・団体が一体となつて本県野菜振興と野菜農家の経営安定を図つていきます。

2025年度は産地と消費地の「結」束力を高め、生産基盤を維持強化し、経営安定を実現するために振興方針の施策として「人を結ぶ」「技術を結ぶ」「信頼を結ぶ」を提言しました。

功労者表彰では5人と1団体が表彰され、当JAの軟弱野菜生産部会(よしの優ラ良)の濱田あつ子さんが女性農家の組織活性化や販売促進イベントに積極的に参加し、県全体の野菜販売に貢献した功績が称えられ、特別功労者として表彰されました。

記念講演では、舞の海秀平氏が「決してあきらめない―結束力の大切さ―」を演題に力士時代の話を変えた楽しいトークで会場を沸かせていました。



びわ剪定講習会

6月26日、平川果樹部会はびわの園地で鹿児島市果樹部会と合同の剪定講習会を初めて開き、会員と関係者25人が参加しました。

当JAの果樹部会では、下園茂会長を中心に17戸の生産農家が長崎早生や茂木、なつたよりなど3品種のびわを栽培し、消費者に喜ばれる美味しいびわ作りに取り組んでいます。

園地では、長元宮農指導員が施肥や病害虫防除など7月の管理作業について説明したあと、太枝や密生枝、徒長枝の整理など実技指導を交えて指導しました。

長元宮農指導員は「園地や品種によって剪定内容や剪定量など適期の管理作業、病害虫防除暦を再度確認して良品質のびわ作りに繋げてほしい」と話していました。



太陽光遮光材ハウススクール散布

7月2日、吉野支店管内でドローンによる太陽光遮光材「ハウススクール」の散布

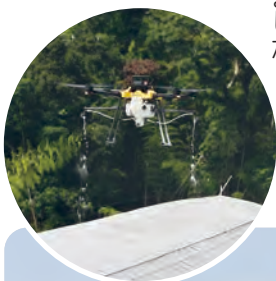
が行われ2025年度は、よしの優う良で4戸の生産農家がドローンでの散布を行い労力の軽減を図っています。

ハウススクールとは、施設園芸用の吹付型遮光材でトウモロコシから作られた生分解性樹脂を使用しています。

当JAでは、吉野・吉田・伊敷地区で軟弱野菜生産部会（通称・よしの優う良）を中心に温暖化対策として、太陽光遮光剤を散布しており、ハウス内の極端な温度上昇の防止や作業環境の改善、作物の生育促進などの効果があり、ハウス内の温度も3度から5度、最大で10度ハウス内の温度が下がったと試験結果が出ています。

同部会の仮屋考さんのハウス（25棟）では、2024年度は動噴での手散布とドローン散布を試験的に行っていました。2025年度は全てのハウスをドローンで散布しました。

2025年度は、梅雨あけが早く最高気温も35度前後と高いため、例年より2週間ほど早く遮光材散布を開始しました。



肉用牛部門技術研修会実施

7月4日、鹿児島地域振興局は2025年度肉用牛部門技術研修会（現地・室内）を開き、鹿児島市や日置市、JA鹿児島みらい青年部畜産支部、指導農業者など関係者34人が参加しました。

現地研修では、吉村博昭さんの牛舎を視察し、繁殖雌牛の飼養管理技術・経営改善をテーマに繁殖成績や分娩間隔、子牛の商品性向上、肉用牛経営について説明を受けました。

室内研修では、青年プロジェクト発表があり、同支部の西村学将さんが「分娩間隔の短縮・制限ほ乳による3か月月例離乳」と題し、これまでの取り組みについて発表しました。

2ヶ所目の現地視察では、同支部の千竈裕樹支部長の放牧地（32a）で前日に4回目の入牧をしたばかりの牛の様子を見ながら、繁殖雌牛放牧実証後の受精や飼料コスト削減結果、放牧牛の入牧前と入牧後の健康状態など、「ちよこつと放牧」の魅力を交えながら説明しました。



2 斎場で合同慰霊祭とお盆フェア開催

6月15日に天祥館東谷山斎場で、6月29日はやすらぎ館伊敷斎場で毎年恒例の合同慰霊祭とお盆フェアが開かれ、相続や遺品整理相談コーナーのほか、提灯や仏具などのお盆用品の展示販売や無料の終活写真撮影も行われました。

6月15日の天祥館東谷山斎場には、組合員や地域住民、初盆を迎える遺族、関係者ら200人が来場しました。

合同慰霊祭では、杉山管理経済担当常務のあいさつのあと住職による読経が行われ、遺族らが亡き故人を偲びながら焼香し供養しました。

ホールでは、終活セミナーや仏壇仏具展示コーナー・遺品整理相談会、相続相談コーナー、終活写真撮影会のほか、生花店によるアレンジ花講習もあり、花の種類や特徴、アジサイを長持ちさせるためのプロの裏技などを交えて説明しました。

屋外のフリーマーケットブースでは、地元の野菜や切り花、女性部によるお菓子・手作りみそなどが販売され、多くの来場者が買い求めていました。

最後にお楽しみ抽選会もあり、特等の家電製品のほかお米、ジュシー、アレンジ花などが来場者にプレゼントされました。

やすらぎ館伊敷斎場には、初盆を迎える家族や地域住民ら150人が来場しました。

ホールでは、合同慰霊祭が行われ、井手上組合長のあいさつのあと住職による読経が行われ、遺族が参列のもと亡き故人を偲びました。

別会場では、相続や遺品整理相談コーナーのほかフリーマーケットコーナーもあり、地元農家の野菜販売や女性部による加工品、手芸品などが販売されました。最後にお楽しみ抽選会もあり、豪華景品が来場者にプレゼントされました。



ベジメーター測定会

6月4日、中央町の日本ガス株式会社で5回目の出張ベジメーター測定会を実施し、社員60人が計測しました。

2025年1月から当JAとのタイアップ企画として定期的に測定会を実施しており、数値の変化や社員の食に対する意識向上に繋がっていました。

今回は、食生活の改善によるベジスコアの変化を比較するために4月上旬から6月上旬まで2週間おきに計5回測定会を実施しました。

会場には、社員らが集まり以前の数値を確認しながら測定し「個人的に数値のアップダウンはありましたが食についての意識が変わりました。バランスよく摂取することを目標に今後も野菜中心の食生活が続けます」と笑みを浮かべていました。

タイアップ企画を提案した家庭用営業グループリビング開発チームの片野坂将年係長は「ランクは様々ですが、社員の食に対する意識は高くなってベジメーターの話題がよく出ます。なかにはA判定の社員に食事について興味深く聞いたり、野菜ジュースを飲む社員も多くなりました。今後JAの協力をもらいながら測定会を継続していきたい」と話していました。



産地づくり10年ビジョン
実践委員会

7月3日、2025年度産地づくり10年ビジョン実践委員会が本部で開かれ、生産者代表や地域振興局、鹿児島市、関係者ら26人が参加しました。

同委員会は、22年から地域農業の活性化と農家所得の向上を目的に軟弱野菜やカボチャ、桜島大根、桜島果樹、直売所、生産牛などの10年後を見据えた「営農ビジョン」(数値編戦略編)を策定し、強い農業の仕組みづくりに取り組んでいます。

会では、井手上委員長(JA組合長)のあいさつのあと、営農指導員らが24年度の実践状況の報告と、3年おきに行う見直し計画として未来予測の考え方や生産振興対策について説明しました。

今後は、10年ビジョン目標達成に向けて重点施策及び取り組み計画を実践しながら営農・経営指導強化を図ります。

本採用辞令交付式で
サプライズアルバム贈呈

7月1日、本部で本採用辞令交付式があり、4月に入組した6人が本採用の辞令を井手上組合長から手渡されました。

式では、井手上組合長のあいさつのあと、職員を代表して竹原彩乃職員が「組合長よりいただいた励ましの言葉を胸に組合員・利用者の皆さまに満足と感動をあたえられるよう日々精進していきます」と宣誓しました。

辞令交付のあと、総務人事課の職員と先輩職員らが1ヶ月前から作製したアルバムが3ヶ月間の研修を終えた職員に一冊ずつプレゼントされました。

アルバムには、入組からの研修風景など様々な写真のほかに井手上組合長や先輩職員からのメッセージも添えられており、アルバムを手にした職員らは「感謝と嬉しい気持ちでいっぱいです。アルバムを励みにこれからも頑張ります」と笑顔で話していました。



子ども食堂に食材提供

6月21日、軟弱野菜生産部会(よしの優う良)は、鹿児島市本名町の宮校区「ミニミニ」協議会女性部が運営する「子ども食堂・宮つ子」に地元野菜を届けました。

同部会は、吉野・吉田地域を拠点に20戸の生産農家がハウス(5万㎡)で軟弱野菜を中心にパセリやラディッシュなど14品目を栽培しており、地元の子供たちに栄養価の高い野菜をモリモリ食べてもらいたいと部会員らにひとり一袋を呼びかけ、コマツナやミズナ、フリルレタス、ブロッコリースプラウトなど丹精込めて作った30袋を提供しました。

同協議会女性部は、毎月第3土曜日に吉水公民館で子ども食堂を開き、幼児から高齢者など多様な人たちに旬の食材を使った手作り料理を通じて食の大切さを伝えています。

今回、鹿児島サンロイヤルホテルの天川伸也料理長が「食を通して地域貢献したい」との熱い思いから子ども食堂・宮つ子を訪れ、以前からリクエストの多かったハッシュドビーフや食材提供されたコマツナやブロッコリースプラウト、キュウリ、ニラなどをふんだんに使った野菜のバイザンヌスープを作り、女性部の作った料理と一緒に子どもたちに振る舞いました。



助けあい組織かがやき総会

6月25日、第5回助けあい組織かがやき総会が都市農業センターで開かれ、会員と関係者80人が参加しました。

同かがやきは、ボランティア活動を行う協力会員（118人）と資金面などで援助する賛助会員（387人）で構成され、高齢者をはじめ地域に住む方々の生活を支援するとともに、JAの相互扶助の精神のもと、地域のニーズに寄り添うボランティア福祉活動に取り組んでいます。

総会では、川畑功美子会長と井手上組合長のあいさつのあと、2025年度の活動計画として、年金支給日の「おもてなし」を通じて高齢者や地域住民との絆を深めながらふれあい活動に努めることやJAや女性部と連携した健康づくりや防災に関する学習活動、ボランティア活動の知識向上等に努めることを決めました。

学習会では、鹿児島市健康福祉局福祉課の岩下啄巳主事が「大規模災害時の住民主体の避難所運営等について」をテーマに、鹿児島市の避難所の状況や大規模災害時の避難所のほか災害ボランティアの内容や炊き出し支援の方法等について説明しました。

川畑会長は「災害時に一般ボランティアとして炊き出し等の支援活動ができるように研さんして、もしもの時に備えたい」と話していました。



伊敷支部 合同で初めてのふくれ菓子作り

6月12日、伊敷支店で部員15人が年金支給日のおもてなし活動に振る舞うふくれ菓子150人分を作りしました。

同支部は、2支部（小野支部と下伊敷支部）が2025年6月4日に統合して伊敷支部としてスタートし、合同では初となるふくれ菓子作りとなりました。

部員らはレシピを見ながら材料を混ぜ合わせたあと、蒸籠で蒸しあげました。6筆分のふくれ菓子をカットして袋に入れラベルシールを貼り振る舞い用のふくれ菓子を準備しました。準備したふくれ菓子は、6月13日の年金支給日に部員らが来店者に振る舞い、店舗内には笑顔があふれていました。



中山支部・山田支部合同でおもてなし

6月13日、桜ヶ丘支店で中山支部と山田支部が合同でおもてなしを行いました。当日はふくれ菓子100個が用意され来店者へ振る舞われました。

中山支部の水口支部長と山田支部の鳩宿支部長は「これまでもふくれ菓子は渡していましたが、こうして桜ヶ丘支店でおもてなしをするのは初めてです。皆さん喜んでいただけて大変うれしい。今後とも続けていきたい」と話していました。



坂之上支部 平川動物園で心のリフレッシュ

6月13日、坂之上支部は平川動物園で健康づくりの一環として「心のリフレッシュ役員研修会」を開き、役員ら12人が参加しました。

動物園での研修会は初めての試みで、役員らは園を散策する前に広報誌みらいの活用方法や、これまでの支部活動にプラスした新たな活動への取り組みについて意見を出し合いました。

役員らは、順路に沿ってトラやペンギン、コアラ館などを見学して写真や動画を撮り、動物園を散策し「楽しいウォーキングになりました」と笑顔いっぱいでした。



支店企画

谷山北支店

〈支店紹介〉

昨年11月に中山支店と山田支店が統廃合し、谷山北支店として再スタートしました。これからも組合員・利用者の皆さまが、気軽に相談しやすい支店でありたいと思っています。統廃合後はお客様も多くなり、窓口でお待たせすることもあると思いますが、心のこもった接客をさせていただきますので、これからも谷山北支店をよろしくお願いします。



〈東支店長コメント〉

店舗も新しくなり組合員・利用者の皆さまが笑顔溢れる支店となっております。職員は個性溢れるメンバー（愉快的仲間たち?）が揃っておりますが、お互いを尊重し、明るく楽しい家族のように愛も溢れる支店となっております。



郡元支店

〈支店紹介〉

郡元支店は令和3年2月に3つの店舗（旧郡元、宇宿、鴨池新町）が一つになり、明るく元気な組合員がたくさんいらっしゃる支店です。職員14名、お客様に寄り添い身近な存在になれるよう取り組んで参ります。お近くを通られましたら是非、お立ち寄りくださいませ。郡元支店職員一同、お待ちしております。



〈中尾支店長コメント〉

郡元支店に3月に着任しました。支店には職員14名が在籍しております。地域の組合員・地域の皆さまに愛され親しまれる店舗になれるように職員一同、一生懸命努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



2025年度アグリスクールはじまる★

6月28日、2025年度のアグリスクールが開校し、親子連れとJA関係者65人が田植えと泥んこ運動会、生ごみから自家製堆肥を作るポイット丸について学びました。

当JAでは、食農教育の一環として親子参加型のアグリスクールを通じて、田植えや稲刈り、アグリタウン小山田での収穫体験、青年部のF2畑でのサツマイモ収穫など11月まで年4回のカリキュラムを実施します。

開校式では、井手上組合長の挨拶のあと、田んぼへ移動し長谷宮農指導員が苗の特長や植え方について説明しました。

今回は、暑さに強い品種の「あぎの舞」を田んぼ(5a)に掛け声に合わせて昔ながらの手植えを体験しました。

泥んこ運動会では、子供チームと親チームが4班に分かれ、ラケットにボールを乗せて速さを競う競技とボール集めゲームを行い、子供たちは泥んこになりながら楽しんでいました。

最後にダンボールコンポスター(通称ポイット丸)の基材や日々の管理方法について説明を受けたあと参加家族に配布され、夏休みの自由研究など家庭での自家製堆肥作りに挑戦します。

※F2畑とは

耕作放棄地の復活プロジェクトとして、坂之上支店管内にある耕作放棄地を青年部とJA職員が完熟牛糞堆肥の散布や耕うんをして作った畑で、2024年度はジャガイモやサツマイモなどを植え、収穫体験など食農教育の場として活用していきます。



中山小学校で田植え指導

6月10日、中山小学校の「中山農園」で、地元農家で同校OBの竹内清治さんとみちえさん夫婦が自宅で作ったヒノヒカリの苗を使い、5年生7クラス243人の児童に田植えを指導しました。

竹内さん夫婦は、2012年から同校より依頼を受け、毎年田植え、稲刈り、脱穀作業などの体験を通じて食の大切さを伝え続けています。

また、2024年から中山地区まちづくり協議会のメンバーも加わり、児童らの米作りをサポートしています。

児童らは、田んぼに入る前に竹内さんから苗の持ち方や植え方等について説明を受けたあと、苗を受け取り初めての田植えを体験しました。児童は「今日は初めて尽くしの田植えでした。農家の方の大変さとお米の大切さを知りました。稲刈りまでしっかりとお世話をして美味しいお米を作ります」と笑顔で話していました。

地域の子供たちと餅米作り楽しむ

6月7日、谷山北支店管内にある農家レストラン「てのんでファーム」は、地域の子供たちを招いた田植え&泥んこ遊び体験を開き、保育園児や小学生の児童、保護者など60人が参加しました。

2021年12月に今村正次さんと、理恵さん夫婦で農業体験が楽しめる農家レストランをオープンし、22年から地域の子供たちに餅米作りやジャガイモ、サツマイモ収穫のほか、旬の食材を使った料理体験など食と農の大切さを伝えていきます。

園児らは、田んぼの土になるために泥んこ遊びを満喫したあと、植え付け用の田んぼに移動して正次さんが5月上旬から大切に育てた水稻苗(さつま絹もち)を手に入れた喜びを伝えていました。

今後は、稲刈りや脱穀、餅つきが実施されます。

正次さんは「色々な体験を通じてお米のことを知ってもらいたい。毎朝田んぼの見回りをして実りの秋が迎えられるように管理をしていきます」と話していました。



サツマイモ作りに挑戦

吉野東小学校で出前授業

6月14日と18日の2日間、吉野東小学校で出前授業が開かれ、3年生6クラス218人の児童がサツマイモ（紅はるか）の苗700本を定植しました。

同小学校では、3年生の児童らが吉野地区の農業を学びながら地元農家の畑でサツマイモ作りに挑戦しています。

畑では、長谷宮農指導員がサツマイモの特徴や苗の植え方、収穫までの管理作業等について説明したあと、児童らは苗を定植し「生長が楽しみ。秋にはでっかいサツマイモをたくさん収穫してクラス全員で大学芋を作ります」と声を弾ませていました。



はららっぱ農園でサツマイモ苗定植

6月29日、原良支店管内にある分譲住宅地コモンヒルズはららで住民ら30人が「はららっぱ農園」にサツマイモの苗（紅はるか80本）を定植しました。

同農園では、年2回当JAがサポートしながら、タマネギやコマツナ、サツマイモなど野菜作りを楽しんでいます。

植え付け作業には、松岡和昭宮農指導員と同支店の砂坂伸二支店長ら3人が参加し、この日を心待ちにしていた親子連れにオリジナルの植え付け棒の使い方を説明しながら苗植えをサポートしました。



錦江台小学校 ポイット丸で堆肥作り

6月18日、錦江台小学校で鹿児島大学法文学部の大前慶和教授が生ごみリサイクルの出前授業を開き、5年生の児童124人が生ごみから堆肥を作るダンボールコンポスター（通称ポイット丸）について学びました。

同小学校では、2024年から総合的な学習の時間でポイット丸を使った自家製堆肥を活用し、野菜作りに取り組んでいます。

体育館では、大前教授からポイット丸の仕組み、土壌微生物の役割等について説明を受けながら基肥を作り、児童らは「土壌微生物をペットとして愛情をもつて育てます。自家製堆肥が出来たら美味しい野菜を育てて販売することが目標なので頑張ります」と話していました。

2025年度は7校の小学校で29個のポイット丸が稼働しています。



あたご保育園でバケツ稲作りに挑戦

6月10日、下伊敷町のあたご保育園で出前授業が開かれ、年長組の園児17人がはじめてのバケツ稲作りに挑戦しました。同園では植え付けや稲刈り、脱穀、おむすび作りまでを体験しながら日本の主食であるお米の大切さを学習します。

園庭で長谷宮農指導員から苗の植え方やお米について説明を受けたあと、バケツに水稻用の土と水で小さな田んぼを完成させ、5本の苗をバケツ中央に植えながら「収穫したお米でおむすびをみんなで食べたいです」と声を弾ませていました。



家庭菜園



イタリアンパセリ

食べたいときに摘み取る、
キッチンハーブの優等生

1.種まき

1cm間隔ですじまき

種にかける土は薄く。手のひらで土をおさえます。発芽までは2~3週間くらいと、少し時間がかかります。



細い棒を押つけて、5mmくらいの浅い溝をつくる。10~15cmくらいあけて2本つくる。



種を1cm間隔でまいて土を薄くかけ、手のひらで押さえる。たっぷりと水やりする。乾燥を防ぐため種まき後、不織布(ふしよくふ)や寒冷紗(かんれいしゃ)で覆うとよい。

2.間引き・追肥

間引きは3回、追肥は月に1回

本葉2~3枚で3cm間隔、本葉3~4枚で7~8cm間隔、本葉5~6枚のときに10~15cm間隔に間引きます。



1回目の間引き。本葉2~3枚のとき3cm間隔に間引き。以降の間引き菜は食べられる。



2回目の間引き。本葉3~4枚のとき7~8cm間隔に間引いて、化成肥料10gを列と列の間にまく。以後月1回、同量の化成肥料をまく。本葉5~6枚になったら3回目の間引き。10~15cm間隔にする。

3.収穫

本葉15枚になったら、
かき取りスタート

下のほうの葉から収穫します。翌年の春につぼみをつけるようになったら早めに摘み取り、秋まで収穫を続けます。



3回目の間引きのときの間引き菜。根の部分にも香りがあり、食べられる。



本葉15枚くらいまで育ったら、根元から数本ずつ切り取る。葉が少ないと生長が悪くなるので、つねに10枚くらいの葉を残すようにする。

不動産・相続 無料相談会

2025

9/21 日

時間

13:00~17:00

会場

たわわタウン谷山
2階カルチャールーム
(鹿児島市西谷山1丁目5)



in たわわタウン谷山

事前ご予約をお待ちしません。(当日来場可)
※但し、先着10組限定となります。



先着
10組

個別相談会

【相談時間】1組あたり約30分



お客様のご要望をお聞きしたうえで、
売却方法を専門スタッフが親身になってご提案いたします。

☑ 相談無料

☑ 秘密厳守

☑ 査定無料



専門の相談員がお待ちしています。

【税理士】西田 友博
【司法書士】喜山 修三

相談無料! 秘密厳守!

まずはご相談ください。

◎事前予約は
こちらへどうぞ

JA鹿児島みらい不動産センター

TEL 099-268-2263 (谷口・打越)

安心と信頼の

JA不動産

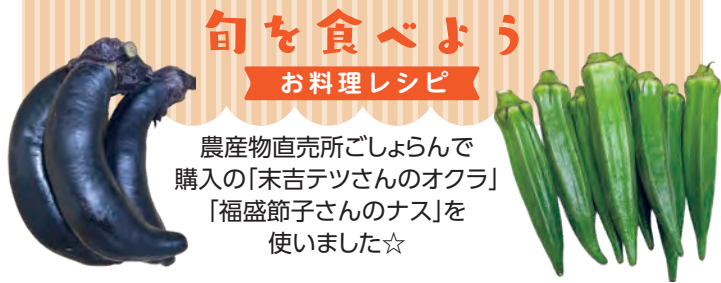


JAグループ
鹿児島県くみあい開発株式会社
鹿児島市鶴池新町15番地 (JA会館10F)

不動産開発課

鹿児島県くみあい開発

検索



旬を食べよう

お料理レシピ

農産物直売所ごしよらんで
購入の「末吉テツさんのオクラ」
「福盛節子さんのナス」を
使いました☆

オクラ

オクラの特徴であるネバネバの成分は「ペクチン」という水溶性食物繊維の一種です。ペクチンには、胃の粘膜を保護し、腸内の善玉菌を増やして腸内環境を整える作用があります。そのため、免疫力がアップすることに加えて、夏の弱った胃腸を整え、食欲を改善する効果も期待できます。汁物や炒め物、お浸し等様々な料理に活用し、暑い夏を乗り切りましょう。

オクラと漬けマグロの黄身おろし

材料(2人分)

オクラ…………… 3本
まぐろ(赤身・さく・刺し身用) 120g
大根…………… 5cm(約200g)
出汁しょうゆ …… 適量
卵黄…………… 1個分



作り方

- ①まぐろは2cm角に切る。ボウルに入れて出汁しょうゆ大さじ1をからめ、時々混ぜながら10分程漬ける。
- ②オクラはがくをむき、塩適量(分量外)を振って、板ずりする。塩をつけたまま熱湯で1分30秒程茹で、冷水にとる。1cm幅の斜め切りにし、①に加えて和える。
- ③大根は皮をむいてすりおろし、軽く水気を切る。ボウルに入れ卵黄を加えて混ぜる。
- ④器に②を盛って③を乗せ、出汁しょうゆ少々をかける。

ナス

ナスは低たんぱく・低カロリーで、豊富に含まれる食物繊維は、便秘改善や大腸がん予防、血糖値の上昇を抑え、糖尿病や肥満を防ぐ効果があります。ナスの皮の特徴的な紫黒色の色素は「アントシアニン」というポリフェノールの一種で、抗がん作用や動脈硬化予防で知られています。また、ナスは体を冷やす効果が強く、暑い夏にぴったりです!

ナスのネギ塩グレ和え

材料(2人分)

ナス…………… 2本(200g)
長ネギ…………… 10cm
A
ゴマ油…………… 小さじ2
レモン汁…………… 小さじ2分の1
塩…………… 小さじ4分の1
粗びき黒コショウ …… 適量



作り方

- ①ナスはヘタを落とす。耐熱皿にのせ、ふんわりとラップをかけて電子レンジ(600W)で3分ほど加熱し、粗熱をとる。
- ②長ネギはみじん切りにしてボウルに入れ、Aを加えて混ぜ合わせる。
- ③①を5cmくらいの長さ切って、食べやすい大きさにさき、②に加えてサッと和える。

★8/29(金)まで! お申し込みはお早めに!!

JAの定期貯金で \ お得なWキャンペーン /

サマーキャンペーン

JA鹿児島みらい 2025

令和7年
6/20 - 8/29(金)

組合員の皆様へ

抽選で 定期貯金を新規に10万円以上ご成約の方

1,000名様に1,000円分の農協共通商品券がその場で当たる!!

見1,000本

さらに 激アツ!! JAグルメ 定期貯金キャンペーンも同時開催中!

対象 新規に1口100万円以上ご成約の方
組合員の方にも応募可能です!

抽選で県下1,000名様 7,000円相当の豪華賞品をプレゼント

A賞 鹿児島黒牛黒豚セット

B賞 旬の野菜果物セット

C賞

D賞 黒酢プレミアムセット

貸出関係手数料改定のお知らせ

この度当JAでは、令和7年9月1日(月)より、貸出に関する手数料の改定をさせていただきます。組合員・利用者の方にはご負担をお掛けしますが、より一層のサービス向上に努めて参りますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

【主な改定内容】

小口ローン実行手数料: 2,200円

住宅ローン実行手数料: 33,000円

※その他の改定内容につきましては、お近くの窓口にお問い合わせ下さい。



読者からの

おたより



★おたより拝見しました★
JA鹿児島みらい組合長

★南国交通バスの後方の野菜ラッピング
広告「よしの優ラ良」目立ちますね♪背景
の黄色がまた良いです！

(吉野のキョットン)

★5月27日は「小松菜の日」と言うことを
初めて知りました。手ごろな値段段でお店に
あるのでよく食べています。読者からのお
たより楽しみです
(みーちゃん)

★久しぶりに谷山北支店へ足を運びまし
た。以前のJAと違いこごんまりとして、
とても綺麗で窓口の方もとても丁寧でし
た。安心して手続きが来しました。ありがと
うございます
(のんちゃんママ)

★毎月みらいを見ています。毎月のように
畜産の記事が載っていますが6月号に耕作
放棄地を活用した放牧が2件載っていまし
た。年をとり田畑の仕事が出来なくなり耕
作放棄地が出てきています。そこを畜産の
人たちが牛の放牧で活用してくださり、あ
りがたいものです
(山田のかかし)



夏におすすめパワーアップ食材

小松菜

汗をかくと失われる
栄養素を補給



粘膜を健康に保ち免疫力を強くする
ビタミンA、血液中で酸素を運んで貧血
を予防する鉄分、骨や歯をつくり、筋肉
の収縮をスムーズにするカルシウムな
どが含まれています。カルシウムは汗を
かくと、失われるため運動をするときは
多く取りたい食材です。

おすすめ料理は手軽にできる小松菜
と豆腐のみそ汁。汁ごと飲めるみそ汁
は水に溶けやすいビタミンCを無駄なく
取ることができます。是非、1日1汁で暑
い夏を乗り切ってください。

理事会だより

第4回(6月26日)

- ① 委員会設置要領の一部改正について
- ② 理事会規則第10条に基づく委員会委員の選任について(案)
- ③ 理事会承認貸出案件の条件変更について
- ④ パーゼルⅢ最終化に伴う自己資本比率算出要領の全部改正について
- ⑤ 夏季賞与の支給について

JA鹿児島みらいの概況 (2025年6月末)

正組合員数	5,131人
准組合員数	36,341人
総組合員数	41,472人
貯金残高	2,529億8千9百万円
貸付金残高	1,005億6千6百万円
長期共済保有高	5,143億6千3百万円



お得な情報やイベント、
キャンペーンなど
月5回のペースで
配信しています。

大好評!!

「みいちゃんスタンプ」
も購入できます!



JA鹿児島みらい
LINE公式アカウント
お友だち登録はこちらから!!



@rjp1931r

その時、あなたは

食の未来も選んでいます。



JAグループ

日々のお買い物や食事は子どもたちの食の未来につながっています。食料の約6割を海外に頼る日本。いざという時に食料に困らないためにはどうすればいいのでしょうか。それには…

JAグループサポーター 林修



私たちの国で

消費する食べものは、



できるだけこの国で生産する

国消国産

を進めていくことが大事です。

そのために私たちが普段からできることは、「国産を選んで食べる」こと。それは、子どもたち世代の「食の未来を選ぶこと」なのです。

キリトリ線

▼本誌へのご意見、身近な地域の話、イラスト、絵手紙、写真などお書きください。

JA鹿児島みらい・葬祭特典付き定期積金

百寿

ひやくじゅ

ご家族の絆と、ライフプランを第一に考えた定期積金です。おトクな特典で、大切な想いにお応えいたします。

適用利率
定期積金
店頭表示金利の
3倍

ご利用いただける方
個人の方に限らせていただきます。

毎月の掛金
3,000円以上

掛込期間
2年以上(毎月定額式)

適用金利
ご契約時の店頭表示金利の3倍

※口利に制限はありませんが、年一人総掛金合計50,000円までとさせていただきます。
※申込締切日または、当JA協会の平均金利を適用いたします。

JAならではの、安心と信頼の特典付き。

特典1 全額特別金利
お預けで
《百寿》の満期金全額をスーパー定期貯金(期限1年)へ繰替していただいた場合は、最初の店頭表示金利に0.10%上乗せした金利でお振替いたします。

特典2 10%割引等
1. JA葬祭(鹿児島みらい運営)をご利用の際、葬祭利用料の10%割引。
2. 遺族年金受給手続きに関するご相談
3. 相続税に関するご相談

※1: お利回りは復興特別所得税が適用され20.315%(国庫15.315%・地方税5%)の源泉分離課税がかかります。
※2: 贈与税(金22万円(税込)以上)の場合に限りさせていただきます。

特典のご利用範囲

百寿 契約者ご本人
(同一家庭の方のみ変更可能です)

百寿 配偶者
(特例1: 二人暮らし・特例2: 上記の通り)

詳しくはお近くの窓口までお気軽に。

JA鹿児島みらい

JA鹿児島みらい

検索

(2024.10)

ペンネーム

2025 nagomiが 発行されました



nagomi vol 14が7月中旬に完成し発行されました。
今回は、農業女子第2弾として、当JA管内の園芸と畜産を支え日々、目標をもって農業と向き合っているキラキラと輝いている4人の生産農家さんを紹介しています。

nagomiは各支店または農産物直売所「ごしよらん」やJA関連の直売所等に設置しています。

今回から、nagomiがコンパクトサイズになっていますが、情報量とやる気は変わりませんので、是非、手に取ってみてください。

通年版ギフトカタログ 2025-2026

鹿児島ふるさと便
～大切な方へ、鹿児島からの贈りもの。



●お申し込み・お問い合わせは
最寄りのJAにておたずねください。

●商品に関するお問い合わせは JA鹿児島県経済連ギフトセンターまで **営業時間**
フリーダイヤル ☎ 0120-722-188 月～金 AM9:00～PM5:00
(土日・祝日を除く)

ご注文受付日より約10日程度
かかる場合がございます。
1.商品のお届けについて
※メーカーより産直でお届けするため、異なる商品を2点以上お申し込みの場合、お届け日が異なる場合がございます。

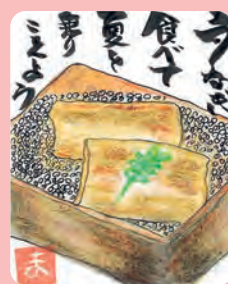
2025年4月より
2026年3月31日〆まで
2.お申し込み受付期間

3.送料について
本カタログ掲載価格は商品代金(消費税込)の金額で
別途送料が必要となります。
送料・同梱包発送についての詳細は本カタログ
P23ページをご覧ください。

4.お申し込み方法
専用申込書に必要事項をご記入の上、
最寄りのJAにて
お申し込みください。

アートの 広場

素敵なイラスト・絵手紙・写真をおくっていただきありがとうございます。全ての作品を掲載したいのですがスペースが限られているためご紹介出来ない作品もあります。ご了承ください。



まきちゃん



心咲



つるひめ



8人の孫のばあば



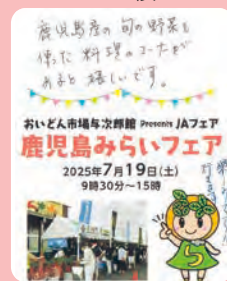
うば桜



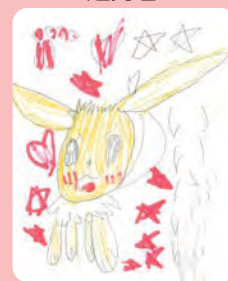
道男君



TOMOちゃん



まるん



ひよい

郵便はがき

切手を貼って下さい。
又はJA窓口へ

8 9 2 0 8 1 7

鹿児島市小川町27番17号

JA鹿児島みらい本部

広報誌 8月号

「読者からのおたより」係

お名前				年齢	
住所	〒 —				
電話番号					

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は本誌編集、モニターに関するご案内等以外の目的で使用することはありません。本店、支店の窓口でも受け付けます。